

上海共同租界工部局 官報 電子版

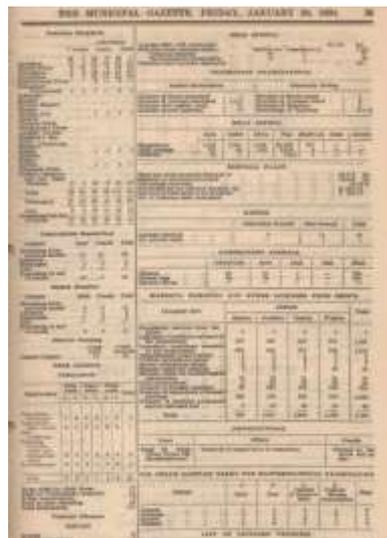
Shanghai Municipal Council: The Municipal Gazette, 1908-1942

上海共同租界の行政機関－工部局

上海ではアヘン戦争後の 1845 年、イギリスが自国民の居住と商業活動のための地域として租界を創設、アメリカとフランスも租界を設置、中国の主権が及ばない治外法権地域が拡大しました。1863 年、イギリス租界とアメリカ租界の合併に伴い、共同租界が誕生します。租界地域で商業活動を営む欧米人により土木関係行政機関として 1854 年 7 月 11 日に創設された工部局 (Municipal Council) は、以後統括範囲を拡大、第二次大戦中に共同租界が廃止されるまで、常設行政機関として共同租界の日常業務とインフラを運営しました。工部局は土木、財務、税務、衛生、警察等の部局の他、図書館やオーケストラをも傘下に擁し、大半の部局のトップはイギリス人で占められていました。工部局員と議長は毎年、納税者総会で選出されました。工部局はイギリス人が大多数を占め、大半の部局のトップもイギリス人で占められました。外国人が主体となって運営された工部局に共同租界に居住する中国人が加入することを認められたのは 1928 年以降のことです。

官報 The Municipal Gazette を完全な形で収録

本コレクションは工部局の官報 *The Municipal Gazette* を提供します。毎週金曜日に発行された官報の収録内容は、共同租界居留民への広報、理事会議事録、予算、収支報告、犯罪報告、衛生報告、消防報告等の各種報告書、工部局の政策や指令から、治安、教育、裁判、衛生、人事、公共事業入札、読者の投書まで、工部局の租界行政全般に及びました。また、人口統計、犯罪統計等、統計データが充実しているのも特徴です。本コレクションは、創刊の 1908 年の創刊号から 1942 年の最終号まで完全な形で収録します。





◆データベースの概要

- ◆ 収録期間: 1908年-1942年
- ◆ 収録ページ数: 14,824 ページ
- ◆ 原資料所蔵機関: Shanghai Library

併せてご検討下さい。

上海共同租界工部局重役会議事録 1854年-1943年

Minutes of the Shanghai Municipal Council

工部局の政策立案機関である重役会の議事録を収録。工部局が共同租界の行政全般を管轄下に置く組織であったため、重役会が議題に上げる範囲は衛生、交通、通信、郵便、税務、都市計画、ガス供給、街灯から動物保護、警察、人力車夫の監督まで、広範囲に及びました。役員や職員の人事異動も扱われています。工部局創設1週間後の1854年7月17日の議事録から工部局が解散した1943年12月17日の議事録まで、約90年に及ぶ重役会の記録を電子的に復刻します。記録はすべて英語で書かれ、1854年7月から1906年12月までの議事録は手書き、それ以降はタイプ原稿です

上海共同租界警察部特高課資料集 1894年-1945年

Policing the Shanghai International Settlement, 1894-1945

工部局警察部の資料を収録。大半の資料は、警察部特高課(Special Branch)の資料で占められています。特高課は警察部の秘密調査機関として、政治デモ、ストライキ、労働争議、社会不安、国内外の破壊活動、共同租界と中国政府との紛争に関する秘密情報の収集、出版物の検閲等の任務を行っていました。特高課は秘密情報を収集する過程で様々な文書を押収し、報告書を作成しました。本コレクションにはこれら報告書、月報、年報のほか、組合活動家、共産主義者、コミンテルン工作員、救国組織の押収文書、逮捕者の尋問調書を収録します。これらの資料は、労働組合活動家、共産主義者、中国共産党員、スパイ、国民党政府関係者、国民党工作機関など、上海共同租界を舞台に活動、暗躍した組織や個人を明るみにし、通商、金融取引、ギャング、闇取引、犯罪、テロ、誘拐、売春の実態を浮き彫りにする貴重な歴史資料です。